

令和3年度 榛生昇陽高等学校 学校評価総括表

教育目標	自ら考え行動し、自他を大切にして協働する生徒の育成		総合評価
運営方針	「生き抜く力」を養い、自ら考え行動し、自他を大切にして協働する生徒を育成する（生徒の変容）		
	自ら学び続けることで、知識を豊かにし、コミュニケーション力の向上を図る（教師力の向上）		
	各分掌長・主任・科長・コース長がリーダーシップを発揮して意思の疎通を図り、組織としての機能を一層充実させる（組織力の充実）		
	報告・連絡・相談の徹底と迅速な対応に心がけるとともに、保護者への連絡を密にし、家庭との連携を図る（リスクマネジメント）		
	各科、コース、部活動、生徒会等が連携して地域交流を積極的に展開し、社会に貢献する態度を養う（地域連携の推進）		
	業務改善の推進と効率的な業務の遂行により、気持ちよく働くことができる環境をつくり出す（職員の健康管理）		
令和2年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標	B
生徒の基本的な生活習慣については、前年度に引き続き改善が進んだ。 また、学校全体の規範意識も向上している。教員の共通理解を徹底し、一層の生徒の行動変容に繋げる。	基本的な生活習慣を確立し、正しい判断力と強い意志を養い、規範意識を高め自主的な生活態度を育成する	ルールを守る心を育て、礼儀やマナーを身に付けさせる 自らの健康を保持増進できる実践力を育て、安全や時間を管理する力を養う 最後まで、あきらめないで、努力を続ける力を養う	
基礎学力の充実に向けて、PDCAサイクルによる確認・点検により、授業および観点別評価の改善を行う。	基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着により、着実に学力を向上させる	基礎的な知識・技能の習得と定着のため、PDCAサイクルにより、授業に工夫・改善を加える 学んだことを活用できる力の育成と、主体的・対話的で深い学びを追求する 学習支援を必要とする生徒に丁寧に対応する	
希望進路を実現するために、教員の知識や手法の向上が必要である。また、実力養成講座の内容・実施方法、進路選択や学習に関する助言の仕方等についても改善と共通理解が必要である。 地域連携については、これまでの取組に対して、高い評価は得られているが、コロナ禍での連携の在り方について、更なる検討の必要がある。	自己理解に基づき、自己実現を積極的に図る態度を育成する	キャリア教育の推進と充実を図る 進路実現に資する情報の収集と活用を推進する 各種検定の受検および資格取得を推進する 進学・就職実力養成講座の充実を図る 個に応じた指導に積極的に取り組む	
また、子ども・福祉科（総合学科）や専攻科、来春開校する宇陀高校の地域との連携の在り方について、地域と協議しながら検討を進める必要がある。	命を大切に、他者への思いやりの気持ちに満ちた豊かな心を育む	介護施設や教育施設等への実習を充実させ、命の大切さや思いやりの心を育む 人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念を深め、他者とともに主体的に生きる能力と態度を養う	
また、子ども・福祉科（総合学科）や専攻科、来春開校する宇陀高校の地域との連携の在り方について、地域と協議しながら検討を進める必要がある。	自ら考え主体的に行動できる力を育成し、体験的な活動により協働する意識と態度を育む	地域との交流やボランティア活動を積極的に推進することにより、協働して社会に貢献する態度を養う 生徒会・各種委員会活動や部活動を活性化させて達成感を獲得させるとともに、協働する意識と態度を育む	
学年や分掌等が機能するように、主任や部長がリーダーシップを発揮して意思疎通・業務分散・協働を強く推進し、業務改善を進める必要がある。	業務改善の推進と効率的な業務の遂行により、気持ちよく働くことができる環境をつくり出す	分掌・学年・科・コース等会議の定期的な実施により、意思疎通と協働の徹底を図る 分掌・学年・科・コース等において役割分担を明確にし、各担当が責任を果たすことで、気持ちよく働くことができる環境を作る 業務の分散、効率化、情報化を図るとともに、情報セキュリティの徹底とサポート体制を確立していく	